

昭和38年春季年会（東京）

# 講演予稿集

於 東大医学部総合中央館

日本天文学会

㊦ 1 会場

		講演番号	
㊦ 1 日午前	位置天文学	A 1—11	2
㊦ 1 日午後	{位置天文学 天体力学}	A 12—25	6
㊦ 2 日午前	{天体力学 恒星天文学}	C 1—11	12

㊦ 2 会場

㊦ 1 日午前	天文物理学(恒星)	B 1—10	15
㊦ 1 日午後		B 11—26	17
㊦ 2 日午前	{天文物理学(太陽系の諸天体) 実験観測装置}	D 1—11	23

会場共通

㊦ 2 日午後	{天体物理学(恒星) 電波天文学 天体物理学(太陽)}	E 1—16	29
㊦ 3 日午前	天体物理学(太陽)	F 1—12	35
㊦ 3 日午後	シンポジウム		

註：

講演所要時間の前の☒の印は、スライドを使用するもの。

# 日本天文学会 1963 年春季年会

## プログラム

◇日時 昭和38年5月16日(木)、17日(金)、18日(土)

◇場所 東大医学部総合中央館3階

	午前 (9時より)	午後 (1時より)	夜
16日 (木)	研究発表	研究発表	
17日 (金)	研究発表	研究発表	懇親会
18日 (土)	研究発表	シンポジウム	

- ★ 第1日午前、午後、および第2日午前は2会場に分けて並行して行ない、第2日午後、第3日午前は1会場とします。
- ★ 講演数が多いので、お申込みの所要時間を減らしたのがあります。御諒承下さい。
- ★ 16日正午より評議員会、17日正午より総会、18日正午より理事会を開催します。
- ★ 会場はいずれも東大医学部総合中央館3階。総合中央館は赤門から入ると医学部本館の東裏手にあたり、竜岡門から入ると最初の十字路の左手にある。

## シンポジウム

5月18日(土)

- I. 石田 蕙一: 小宇宙研究の2, 3の問題…………… 90分
- II. 寿 岳 潤: 星の進化…………… 90分

講演予稿集について: 特別会員には1部ずつ無料で配布しますが、その他の方および特別会員で2部以上希望される方は1部につき実費50円、送料10円をお送り下さい。年会講演の当日会場でもおわけします。

第 1 日 5 月 16 日 (木)

第 1 会場

[午前] (9時より)

A 1.	後藤常男 (緯度観測所): VZT 観測室南北垂直面日射量差と室内屈折の関係	12
2.	村上源吉 ( " ): 水沢 PZT 観測の観測誤差について	12
3.	弓 滋, 須川 力 ( " ): I. P. M. S. における 1962 年の極運動について (I)	12
4.	須川 力 ( " ): I. P. M. S. における Common Z について	10
5.	高木重次 ( " ): Control latitude による Z 項	10
6.	高木重次, 角田忠一 ( " ): PZT, Astrolabe による時刻観測から求めた極運動	15
7.	関口直甫, 根道文子 (東京天文台): 気圧配置による地球の慣性主軸の移動	4
8.	" , " ( " ): 極位置未来値推定法	4
9.	角田忠一 (緯度観測所): 角運動量論による地球回転運動の近似	10
10.	松本博逸 (東京天文台): 堂平山の極望遠鏡	7
11.	虎尾正久, 吉成正男, 嵩地 厚 ( " ): PZT の電接装置について (II)	5

[午後] (1時より)

12.	原 寿男, 深谷力之助 (東京天文台): シンクロ電機を用いた赤緯マイクロメーター記録装置について	7
13.	飯島重孝, 小熊 巖, 加藤 正 ( " ): 精密周波数比較の一方式	7
14.	飯島重孝, 虎尾三春, 河野節夫, 加藤亀三郎 ( " ): 周波数標準の安定度と VLF による国際比較の精度	10
15.	河野 昇, 小川原嘉明*, 霜田光一* (東京天文台, * 東大理学部): NH <sub>3</sub> 3-2 線周波数標準の特性 (I)	10
16.	杉本喜一郎, 森 巧 (水路部): 1956~1961 における星食観測結果報告	10
17.	安田春雄, 伊那辰之, 深谷力之助, 原 寿男 (東京天文台): 1962 年の月・惑星観測と南天観測について	7
18.	原 寿男, 深谷力之助 ( " ): 偏光板を用いた子午環観測について	5
19.	古在由秀 ( " ): 人工衛星の観測から求めたゼオイド	10
20.	後藤 進, 植前繁美 (緯度観測所): 恒星視位置を求める際の一注意	10
21.	虎尾正久, 新美幸夫 (東京天文台): 恒星の視位置計算について	5
22.	原田健久 (国土地理院): 回転楕円体における長距離測地線の始点の位置を知って終点の位置を求める問題の厳密解	5
23.	堀 源一郎 (東大理): 離心率での展開をさけた衛星運動論	10
24.	" ( " ): 人工衛星の運動における太陽輻射圧と地球の形状によるレゾナンスの問題 (II)	10
25.	古在由秀 (東京天文台): 月衛星の運動	10

## 第 2 会 場

[午前] (9時より)

		分
B 1.	古畑正秋, 下保 茂 (東京天文台): ヘルクレス座新星の観測	7
2.	近藤雅之 ( // ): Nova Her 1963 のスペクトルについて	10
3.	大沢清輝 ( // ): 三色測光用フィルターの透過幅について	5
4.	大沢清輝, 西村史朗, 成相恭二* (東京天文台, *東大理): HD 30353 の変光	7
5.	成相恭二 (東大理): HD 30353 の分光測光 (I)	10
6.	大沢清輝 (東京天文台): 恒星の連続スペクトルの量的測定	10
7.	末元善三郎 ( // ): $K_3$ 線の解釈について	10
8.	内海和彦 (東大理): Y CVn の赤外領域での分光解析	10
9.	藤田良雄, 内海和彦 ( // ): 炭素星の赤外域スペクトルの比較研究 (II)	10
10.	藤田良雄, 山下泰正, 上条文夫, 辻 隆, 内海和彦, 中村弥栄子 ( // ): 低温度星の比較研究 (III)	10

[午後] (1時より)

11.	成相恭二 (東大理): HD 25878 のブランケットティング効果	10
12.	小暮智一 (京大理): V 444 Cyg のスペクトルについて	5
13.	一柳寿一, 竹内 峯 (東大理): $\beta$ Cep 型変光星の脈動定数について	7
14.	北村正利 (東京天文台): 食変光星の光度曲線の数値的積分変換によるその要素解析法	15
15.	// ( // ): 2, 3 の食変光星の周縁減光係数について	5
16.	上野秀夫 (京大理): 有限大気 of 非定常散乱関数について	8
17.	加藤正二 (東大理): 乱流から発生した音波による大気 of 速度場	8
18.	// ( // ): 振動と乱流との相互作用による音波 of 発生	8
19.	大崎 徹 (京大理): 音波と輻射とによる温度ふるつきの smoothing	7
20.	大崎 徹, 小暮智一 ( // ): 電離を伴う衝撃波 of 伝播について	7
21.	海野和二郎 (東大理): 吸収線 of 毛布効果	10
22.	// ( // ): 多重線法による彩層線幅 of 決定について	10
23.	辻 隆 ( // ): 星 of 大気における分子 of 解離平衡 (多原子分子 of 組成)	10
24.	上条文夫 ( // ): 赤色巨星周辺空間における固体粒子 of 生成	7
25.	尾崎洋二 ( // ): He-burning 星 of 進化	10
26.	// ( // ): 縮退した星 of エントロピーと温度変化について	7

## 第 2 日 5 月 17 日 (金)

(午前のみ 2 会場にわけ, 午後は 1 会場)

### 第 1 会 場

[午前] (9時より)

		分
C 1.	芝原録一, 吉田淳三* (竜谷大学, *岐阜医大): 三体問題 of 有界条件	10
2.	宮原 宣 (水路部): 四体問題 (主として梯形解) に就いて	12
3.	// ( // ): 二重正三角解に就いて	10
4.	今川文彦 (京大理): 散開星団 of 分布と光度函数	7

5. 清水 疆, 高橋 清* (京大理, *和歌山大): 近距離星の運動学的性質	分
6. 劉 彩品 (東大理): ポテンシャル $V_H$ に基づいたポットリッガー図の高速度星への応用	10
7. 堀 源一郎 ( // ): 銀河面内の星の運動	7
8. 堀 源一郎, 劉 彩品 ( // ): Dispersion Orbits について, および運動星団について	10
9. 堀 源一郎 ( // ): 質量の中心集中度が時間と共に変る場合の星の運動	10
10. 大脇直明, 松波直幸* (水路部, *東京天文台): 銀河中心核による潮汐力の球状星団に及ぼす影響 (I)	10
11. 伊藤周宮子, 小暮智一 (京大理): 銀河系外星雲の輝線スペクトル	7

## 第 2 会 場

### [午前] (9時より)

D 1. 村山定男, 中村忠晴*, 山田幸男**, 村上正弘** (国立科学博物館, *早大, **明石製作所): X線マイクロアナライザーによる流星塵の検討	分
2. 森久保 茂, 支倉雅子 (宮城県第一女子高校): 流星塵の研究	7
3. 下村繁勝: 彗星の実体と成因の一考察	10
4. 宮本正太郎 (花山天文台): 火星の雲と大気の大循環について	10
5. 海老沢嗣郎: 火星暗色部の永年変化について (附) 日本における惑星研究の諸問題	15
6. 吉崎 渉 (大分大): Thermal Control of the Equatorial F <sub>2</sub> Region and Midnight Behavior of [OI] 6300 Airglow.	10
7. 市村喜八郎 (岡山天体物理観測所): 天体分光写真のための新乾板および新現像液の特性について	5
8. 高須芳雄, 吉田庄一郎 (日本光学工業): 乾板校正用分光器	12
9. // , // ( // ): 自記マイクロフォトメーター	12
10. 秦 茂 (東京天文台): 光電子パルス計数による恒星測光装置の試作	7
11. 松丸 勝 (防衛大理工学研究科): 1963~64 年度における宇宙空間用電子観測装置を用いる観測計画の概要	10

### [午後] (1時より)

E 1. 海野和三郎, 下田真弘 (東大理): 星間雲における乱流の発達	10
2. 高窪啓弥 (東北大): 星間雲の内部運動	7
3. 高窪啓弥, 寺内隆太郎 ( // ): 21 cm 波観測よりだした星間ガス雲のモデル (II)	15
4. 藤本光昭 ( // ): 系外銀河系の Dark Lanes (I)—渦状銀河系—	10
5. // ( // ): 3 kpc-Arm の運動	10
6. 大谷 浩, 小暮智一 (京大理): 膨張ガス殻の電波スペクトル指数	10
7. 赤羽賢司 (東京天文台): 24 米固定球面鏡について	5
8. 田中春夫, 柿沼隆清 (名大空電研究所): 9400 Mc/s 用高分解能干渉計	10
9. 高倉達雄 (東京天文台): 太陽電波 I 型バーストの発生機構について	10

10. 甲斐敬造 (東京学芸大): IV 型バーストの偏波 (I) .....	10
11. 河鱒公昭, 内田 豊* (東京天文台, *東大理): IV 型バーストの発生機構 .....	10
12. 守山史生 (東京天文台): レーダーによる太陽の観測について .....	10
13. 河鱒公昭 ( // ): フレアの時のコロナのモデル (II) .....	10
14. 内田 豊 (東大理): 太陽の彩層とコロナの理論的モデルについて .....	10
15. 鈴木利和, 平山 淳 (東京天文台): コロナ・コンデンセイションの温度 .....	7
16. 大脇直明, 鰐目信三* (水路部, *東大理): 1962 年 2 月 5 日の日食における コンデンセイション .....	10

### 第 3 日 5 月 18 日 (土)

[午前] (9時より)

F 1. 浜名茂男, 深津正鏝 (東京天文台): 太陽黒点領域のフレア発生数とアクティブ・ フレアを含む割合について .....	5
2. 辻村民之 (生駒山太陽観測所): IGY, IGC 年間の solar activity について .....	7
3. 長沢進午, 大城義名, 清水一郎 (東京天文台): 乗鞍コロナ観測所の K コロナメ ーター (II) .....	7
4. 西 恵三, 中込慶光 ( // ): K コロナメーターの観測結果と太陽面現象 との関係について .....	10
5. 山口喜助 ( // ): 極附近の紅炎と緑色コロナ強度との関係 .....	7
6. 川口市郎, 富永 進, 久保田 淳, 椿 都生夫 (花山天文台): 内部コロナの測 光結果について .....	5
7. 平山 淳 (東京天文台): 日食で撮れた紅炎のスペクトル .....	7
8. 川口市郎 (花山天文台): 紫外線のプロミネンスに及ぼす影響 (I) .....	7
9. 椿 都生夫, 神野光男 ( // ): 紅炎における中性酸素線の強度比につい て .....	5
10. 富永 進, 神野光男 ( // ): 太陽紅炎の非均質モデル .....	10
11. 川口市郎, 富永 進, 久保田 淳 ( // ): 1962 年ラエ日食の彩層スペク トルについて .....	5
12. 鈴木義正 (京都学芸大): 黒点の太陽周辺側に見られる明るい縁について .....	7